

(株) えふえむ草津 第53回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成31年3月14日(木) 18時30分～20時00分
2. 開催場所 草津アマカホール 文化教室(1)
3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 6名

(出席委員)

岩佐卓實 岡本直輝 奥谷美津子
辻 信一 松田泰子 森 健蔵

(放送事業者側出席者)

青木 均(代表取締役)
山本正雄(事務局)

4. 議 題

- (1) 近況報告
- (2) 番組「モーニングロケッツ785」(3月7日放送分)について
- (3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項
- (4) 訂正または取消し放送の実施状況
- (5) その他

5. 議事の概要



(1) 近況報告

(事業者)

えふえむ草津が目指しているコミュニティFM放送局の姿や公共・公益放送としてのあべき方向性を共有化するため、全パーソナリティを対象とした意見交換会を1月21日と23日に実施。

また、地域各所で行われている各種事業や講座などの収録を行い、番組放送を行った。

具体的には、3月22日の草津市こども環境会議、2月15日の地域サロン交流会、ロクハ荘で行われている事業紹介、2月23日のひとまちキラリ助成事業公開ヒヤリング、3月3日のひなまつり等の収録を行い、番組「草津レポート」などでオンエア。特別番組として2月11日に「防災ラジオ滋賀2019～わが町の明るい防災自慢～」を放送。3月11日には日本コミュニティ放送協会と歩調を合わせて東日本大震災に関連する防災特別番組を放送。

更に、「広報くさつ」の内容を目の不自由な方に届けるための「声の広報」について、3月1日号より当FM局が制作しオンデマンド配信も含めて放送。

今後の予定として3月21日に、スタジオ前の広場で開局10周年記念イベントを開催して防災をキーワードに特別番組で生放送を行う予定。

なお、4月に放送の充実を図るため、番組改編を行う。

(A 委員)

審議委員も改選され、えふえむ草津が新しい事にチャレンジし少しずつ形になってきている。直ぐに完成するのは無理だが、常に前向きにチャレンジされていることが見えてきたので嬉しく思う。今後、その努力を広めていくことが大切。

(B 委員)

これからも、固定観念にとらわれず、臆せずにとんどんトライしてもらいたい。

(C 委員)

草津こども環境会議のことをもう少し詳しく教えてもらいたい。

(事業者)

市内の小中学校や民間事業者が一同に集うイベントで今年18回目となる。

橋川市長のインタビュー番組の中で、草津市の環境教育の取り組みとして紹介し、イベント当日に収録した音源もオンエアした。

(A 委員)

各小中学校の取り組みについて特色があり、子どもたちが勉強の一環で頑張っている姿を伺い知ることができて大変興味深い内容だった。私も良かったと思うので多くの方に聞いていただきたい。

(事業者)

草津市ならではの特色ある取り組みであり、特に小学生の子どもさんの発表が上手だった。

(B 委員)

「声の広報」について、FM 放送との連携ができて良かった。
視覚障がい者の方に防災などの情報も届くように協力願いたい。

(事業者)

防災博士の資格を持ったパーソナリティが市民参加型でマンション防災も含めて関わっている。今後、放送の中で様々な取り組みが可能である。

(2) 番組「モーニングロケッツ785」(3月7日放送分)について

平成31年3月7日にオンエアした「モーニングロケッツ785」を編集した音源を聴取いただいた後、番組審議に入った。

(D 委員)

メールアドレスや電話番号を案内する際、もう少しゆっくりしたスピードで案内した方が良いのではないかと。

また、開催時間や場所などの情報は、2度繰り返した方が分かりやすいのではないかと。
また、クイズ回答者へのプレゼントはあるのか？

(事業者)

クイズ正解者への景品は用意していないので、今後検討の余地がある。

(A 委員)

時間枠によって最適な話のスピードは違うのだが、朝の番組なので全体としてはこの程度のスピード感があっても良い。

電話番号などは、ゆっくりと紹介した方が良い。

(D 委員)

CM 部分について、誰の声なのか？

(事業者)

開局10周年記念の案内は、菅野ららさんがお婆さんに扮している声と愛民さんの2パターンで作成している。

(A 委員)

ラジオでは、テレビのように映像が無いのでイメージすることが難しい。

例えば、マッチ君のキャラクターの声を募集してCMを流しても良いのではないかと。

また、通常放送との違いを明確にするために、音楽などの音源を効果的に使って15秒程度に短くすることも必要。

(D 委員)

コマーシャルの前に、印象的な音を入れるといった工夫をしてはどうか。

(事業者)
検討してみたい。

(C 委員)
CM 料金はいくらか？

(事業者)
お試しは無料だが、10周年特別価格として30秒CMを10回で15,000円をお願いしている。

(A 委員)
制作料も必要ですので、すごく安いと思う。
高くすると集まらないので、この程度だとCMを出してくれる事業所は多いだろう。

(E 委員)
テレビではCMの音量が上がるように思うが、ラジオの場合はどうか？

(事業者)
一定のルールがあり、テレビのように音量を上げていない。
なお、CM部分は放送中のアンタイムで音楽の後などに挿入しているので番組との区別はできていると思う。

(F 委員)
4月改編の番組表について、パーソナリティの名前が記載されているが、放送内容が分からないのではないか。
何をやっているのかが分かると聞きたいと思うが、分からないと聴くきっかけが無い。

(事業者)
番組一覧表では書ききれないため、ホームページで詳しく記載する予定。
番組表を新たに作成する際には、工夫していきたい。

(3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項

別添資料1のとおり

(4) 訂正または取消し放送の実施状況

該当なし

(5) その他

(事業者)

えふえむ草津が制作したラジオ絵本「地震がおきたら」の視聴と「声の広報」を抜粋して視聴していただいた後、4月の番組改編の概要を説明。

(E 委員)

事務所でラジオを付けるようにしており、当初は地域の情報を得るためにえふえむ草津の番組を流していたが、古い曲や昭和歌謡ばかり流れるので「聴くのが辛い」との意見が出た。

演歌が流れると仕事の雰囲気に対応しくないため他局の番組に切り替えた。

えふえむ草津は当初、新しい曲が多かったと思うが、何時頃から年配向けにシフトしたのか？

(事業者)

おっしゃるとおりの状況であったことから、今回抜本的に番組表を見直した。

新しい曲を流したり事務所や店舗、公共施設などでBGMとして対応しい内容となるよう、全国のコミュニティFM専用番組配信しているミュージックバードを導入した。

高齢者向けには、朝の早い時間に昭和ロマン歌謡曲などが流れるので、この時間に聞いていただきたい。

これまではご指摘どおり、SPレコード時代の歌謡曲や昭和演歌が14時からの時間帯に流れていたが、3月より逐次「ミュージックバード」の配信番組に切り替えている。

(E 委員)

今の時代の新しい曲は流れるのか？

(事業者)

著名なパーソナリティの番組もあり、新しい曲も多く流れるようになる。

(B 委員)

当初は30歳代の女性をターゲットにして演歌を絶対に入れないという方針だったが、市役所に幅広い年代層を対象とするよう苦情もあった。

ターゲットの対象をどのようにするかは難しいが、高齢者の演歌のファンもいるのではないか。

(事業者)

午後2時の昭和演歌のコーナーが無くなったので苦情が来るかもしれないが、BGMとして対応しい音楽が流れるようになるので理解を得るようにしていきたい。

他局の多くは、早朝の時間に演歌を流すようにされているようだ。

午後2時台に昭和演歌を流すと、店舗などでは聞いていただけない。

(C 委員)

番組はどんどん変えて行けば良いので、色々やってみてはどうか。

(事業者)

3ヶ月にごとに見直していくことも考えている。

(C 委員)

前回もお願いしたが、小学生・中学生もえふえむ草津に親しんでくれるような企画も検討願いたい。

I C Tの改革が進んできたが、プログラムをすることだけがI C T教育では無い。

(事業者)

アナウンススクールの開催を予定しており、こども放送局も含めて条件を整えて展開することを検討中である。

教育委員会の事務局に申し入れても難しいので、学校単位で取り組んでいただけるよう調整していきたい。

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（3月22日～）
- ②当社ホームページへの掲載（23月22日～）
- ③番組「草津レポート」（3月22日12時～）の中で番組審議会の内容を放送